

とんぐい村の こみ・すく通信

令和元年10月10日発行 第11号
更別村コミュニティ・スクール委員会

みんなの学校応援団 の活動を紹介〈その7〉

「煙はこわい」

9月9日。上更別小学校では、消防署の協力をいただき、避難訓練を行いました。今回は、自分たちで考えて避難できるよう「休み時間中の抜き打ち訓練」として20分休みに実施。それでも、とても素早く避難することができ、消防の方にもほめていただきました。



その後、「煙を吸わないこと」が大切なことから、「スモーク体験」をしました。

多目的教室に「人体に無害な煙」を充満させて、二人ずつ教室に入ります。周囲が全く見えない状況に怖がる子どももいましたが、実際の火災現場に近い状況を体験することができ、とても良い訓練となりました。



「お話し会」

9月19日。更別小学校で「おひさまの会」の皆さんによる「お話し会」が開催されました。

この「お話し会」は年8回ほど行われており、今年はすでに6回目。毎回20~30人ほどの子どもたちが参加しています。



会場は図書室。子どもたちが集中し、見やすいよう「ついたて」を立てて背景とし、その前で絵本を読み聞かせます。子どもたちは思い思いに床に座って楽しめます。

今回は「おしゃべりなたまごやき」という絵本。20分休み。「お話し会が始まりますよ」という校内放送がかかると、30人ちかい子どもたちが集まって来ました。

子どもたちは皆、集中してお話を聞き、温かな雰囲気の中で、お話が進みました。



ゲームや動画鑑賞に時間がとられ、「本ばなれ」が危惧されている昨今。こうした取り組みをきっかけに、本を手にする子どもも間違いなくいるはずです。

読書を通じて得られる読解力や想像力は、子どもたちの大切な「生きる力」となります。地域の人たちが、学校の「隙間時間」を使って、こうしたきっかけを作ってくださいるのは、本当にありがたいことですね。